

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体



協同性

数量・図形、標
識や文字など
への関心・
感覚

自立心

豊かな感性
と表現

思考力の芽生え

言葉による
伝え合い自然とのかか
わり・生命尊重社会生活と
のかかわり道徳性・規範
意識の芽生え

この夏、いかがお過ごしですか。

お盆休みが明けて、久しぶりに子どもたちに出会うと、「この前、プールにいったよ。」「おばあちゃんここで花火したよ。」「川でザリガニをつかまえたよ。」など、目をキラキラさせて夏の思い出をたくさん話してくれました。この時期の経験は、大きくなっても何かしら残っているものです。家族や親戚、友達などと過ごした特別な時間は、子どもたちの心の安定をもたらし、成長への基盤をつくれます。「考える力」「あきらめない心」「思いやりの心」「人とのかかわる力」などの非認知能力はそんな時間にも確実に養われます。

9月には1号さんも登園してきて、いよいよ2学期がスタートします。みんながそろったら、「遊び」もどんどん膨らみます。やりたいことを見つけ、お互いのアイデアを出し合って挑戦してみましょう。10月末には運動会もあります。おうちの人たちに成長した姿を見てもらうことも大きな自信につながります。たくさんの人に、みんなでがんばっているところを見てもらいましょう!!

そうして、5歳児は小学校への準備をします。「幼児が、遊びを通して学ぶことの楽しさを知り、積極的に物事に関わろうとする気持ちをもつようになる過程こそ、小学校以降の学習意欲へとつながっている」と言われています。卒園までの後半戦、自発的な活動としての遊びを通した学びをたくさん積み重ねましょう!!